

## 武井たか子への応援メッセージ

武井さん頑張れ！

2議席減となる今回の選挙は実に厳しいものだと思います。でも、絶対に女性の議員をこれ以上減らさないように、一人でも増やすようにしなければいけません。そして、議会には、おかしいことはおかしいと言える人、また、考え方が色々な人がいることがとても重要です。今の国会の様になっては住民が大変です。

子どもや女性、弱い立場の人のことがよく分かり、親身になって力になれる議員が必要です。武井さんはこれまで、他の議員が問題提起してこなかったことを議会でしっかりと発言してきました。貴重な存在です。是非、今一度議会で声を上げていただけるよう、ご支援をお願いします。松山の市民の皆さんの良識を今度の選挙で示してください。

伊藤 初美（新居浜市議会議員）

あなたの周りに、困った時相談できる議員さんはいますか？

その問題が、実は政治に繋がっていると考えたことはありませんか？

問題を一緒に考え市政の中で解決すべきことを親身に取り組んでくれる議員さん。どの人の顔が浮かびますか？私は武井たか子さんの顔が浮かびます。武井さんと出会ったのは、女性であり母親であり人間である私にも権利があること。環境問題や未来や政治は自分自身の生活とそのまま繋がっていること。そんなことによりやが気がつき始めた時でした。そして理想のまままで終わらせない。人ごとにしない。当たり前のことを当たり前「きちんとしようよ」と。色々な立場の人達が生きやすい社会を一緒に考えて作ろうよ。と。穏やかに。でも強く真っ直ぐな心で。

私は議会の場に本当の市民の声が聞こえる人がいないといけないと思う。しがらみから離れたところで、声を聞き届ける。本来の政治がそこにあるのだと思う。だから私は、武井たか子さんを応援します。

大塚 加奈子

「教育の平等と充実を」

私は2歳から中学生までの4人の母親です。私の子ども時代とは明らかに価値観も選択肢も多様化している社会に、これから子ども達を送り出す立場として、教育の重要性を感じています。

私は、教育を受ける権利は子どもの権利で、親の収入に左右されるものではないと考えます。高校の授業料無償化の所得制限に疑問を感じます。家庭によって抱える事情は異なり、世帯収入という数字で線を引くことが本当に平等なのか疑問です。

昨年7月に16歳のパキスタンの少女、マララ・ユスフザイさんが国連で演説した内容に深い感銘を受けました。「一人の子ども、一人の教師、一冊の本、そして一本のペン それで世界を変えられる。教育こそがただ一つの解決策です」。これは先進国の日本にも通じることです。小中高校を通じて、子どもはもっと自分の権利を学び、世の中の動きや問題について自分達で考え、主張し、話し合う時間を作ってほしい。そうすれば大人になった時にママ友同士で「政治の話はタブー」などという今のような空気にはならないでしょう。政治に無関心な大人が減り、もっと声を上げやすい社会になると思います。

児玉 三由

いま、わたしたちは窒息する手前の息苦しさを感じているのではないのでしょうか。

現在の政権は「頑張ったものが報われる社会」をさらに進めるといいます。10数年まえと同じフレーズです。頑張った(?)一部の人が富を十分に持ち、頑張らなかった(?)大勢の人は貧困化し、生存さえおびやかされています。市場優先政策による、創られた貧困です。それでも、貧困については「自己責任」と言い続けています。

また、原発についてはフクシマの惨事が現在も続いている以上、伊方原発の再稼働は認められません。人の生存をおびやかす原発は廃炉しか、選択肢はないのです。

さらに、政府は昨年末「特定秘密保護法」を強行採決し、法による最高法規＝憲法の破壊を行いました。戦争準備法が可決したのです。

これら民主主義の根幹にかかわることを、武井さんに松山市政を監視することで守ってもらいたいと思います。

谷口 博徳（ごみを考えるネットワークえひめ）

縁あって離島に暮らし始める前は、松山へ出るためにかかる費用や時間の大変さを考えることもなかったけれど、三人の子どもたちと共に暮らす今は、なんやかんやと松山へ出ることも多くなって負担を感じています。そんな時、快くご自宅をお泊りの家として貸して下さる武井さんには感謝の気持ちでいっぱいです。何度か泊めて頂く中で驚きだったのは、多忙な日々の中で何匹もの猫や犬と一緒に暮らしていること。みんな路頭に迷っているところを心優しい武井さんに拾われてきた猫ちゃんたち。よっぽどの猫好きかと思いきや、「だって猫も犬も同じ命ある生き物だもの。放ってなんかおけないのよ」との言葉。きっと「放ってはおけない」の思いで、様々な問題に取り組みされているのだろうと頭が下がります。離島に住む個人的な要望としては、フェリー助成の適用が広がることを願っていますが、もっと重要な課題が山積みの松山市において、武井さんが十分に力を発揮していただけるよう微力ながら応援していきたいと思っています。

岡田 亜希子（農業、中島在住）

武井たか子さんを応援します

武井さんとは、25年ものお付き合いです。福岡正信さんや小室等さんなどに登壇していただき、「これからの地球を考える」イベントの実行委員会で、ごいっしょにたのびがきっかけでした。若いお母さんの武井さんは、まだ幼児だった奈保子さんに手作りのお弁当やおやつを持たせて、一所懸命に取り組まれた、その頃から、有能さと高い目標を掲げる気概を感じさせました。「この人は将来きっと多くの人を助けるお仕事をされるのではないか」と、私は考えていました。

あの頃の「まっすぐさ」に加えて実力を身に付け成熟した武井さんに、私は県議の立場でも助けられてきました。

3年前フクシマ事故の後、私を含めて多くの人が、かつてなかったほどの閉塞感を抱えて生きています。しかも安倍政権の右傾化の中で、子どもたちの未来が危ぶまれる時代です。

こんな時に武井さんが、政治の場でさらに働き続けてくださることは、私たちの希望です。心から応援したいと思います。

阿部 悦子（愛媛県議会議員）

